

今金町生涯学習情報誌 いまナビ

～学びの“今”をナビゲートする～

第5号

平成二十九年
六月一六日

発行日：平成 29 年 6 月 16 日
発 行：今金町教育委員会
編 集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金 48 番地の 1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

昨年度からまちの教育情報誌「今金町生涯学習情報誌いまナビ」を発行しています。

年4回、町内全世帯向けに発行。毎月の町広報「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育委員等のコラム等を掲載します。どうぞご覧ください。

■空手道全国大会出場決定!! 今金町空手道連盟から 4 名出場

4月 22~ 23 日、千歳市で開催された第 55 回北海道空手道選手権大会において、今金町空手道連盟から出場した選手が下記の成績を収め、全国大会の出場権を獲得しました。

吉田陽菜さんは 5 月 27~28 日、東京都千駄ヶ谷で開催された第 60 回全国空手道選手権大会高校生の部に北海道選抜選手として出場しました。結果は初戦敗退でしたが、「来年も全国に行き、来年こそは一つでも多く勝ちたい」と語っていました。ほかの 3 名は 8 月 5~6 日、群馬県高崎市で開催される第 60 回小学生・中学生全国空手道選手権大会に北海道選抜選手として出場します。久保田龍矢君（写真真ん中）は「全国大会では一回戦でも多く勝ちたい」と意気込みを語っていました。

選手の健闘を期待しましょう。町民の皆さまの温かいご声援をお願いします！

氏名	学校・学年	全道大会での成績
久保田 龍矢君	今金小 3 年	組手の部優勝
三津谷 千宙君	北檜山小 4 年	形の部第 5 位
吉田 彪人君	今金中 2 年	形の部第 4 位 組手の部第 2 位
吉田 陽菜さん	檜山北高 1 年	形の部第 2 位 組手の部第 3 位



8 月の全国大会に出場する選手（左から三津谷千宙君、久保田龍矢君、吉田彪人君）

日本空手協会今金支部 今金町空手道連盟

- 支部長：吉川文雄 ●会長：伊藤弘樹
- 会員数：30 名 ●活動日：毎週水・金曜日
- 時 間：18:30~21:00
- 場 所：総合体育館
2 階武道場

「初心者歓迎、
お気軽に
お越しください！」



▲稽古の様子

今後の主な行事

7月 9日(日)	第 62 回今金町民体育祭	今金小学校グラウンド (雨天時総合体育館)
7月 23 日(日)	第 5 回ピリカふれあいマラソン大会	美利河ダム周辺
	ピリカ遺跡まつり	ピリカ旧石器文化館他
7月 27 日(木)	ラジオ体操と町内清掃のつどい	デ・モーレン広場
8月 9 日(水)	サバイバルディキャンプ	未定
8月 13 日(日)	平成 29 年度今金町成人祭	町民センター
8月 27 日(日)	利別川カヌー川下り体験	後志利別川

※詳細はチラシ等で隨時お知らせいたします。

■ 「パステルアート教室」が行われました

4月22日、町民センターにて、子ども読書の日協賛事業・今金わくわくカレッジ“イマカレ”第1弾を兼ねた図書室おはなし会“おはなしこりん”「パステルアート教室」が行われました。町内在住の日本パステルホープアート協会パステル和(NAGOMI)アートインストラクター渡辺淑子氏を講師に招き、おはなしボランティアの協力のもと実施され、子ども・大人あわせて約30名の参加がありました。「リンゴ」をテーマとし、おはなしボランティアによるリンゴの絵本の読み聞かせを聞いてイメージをふくらませ、その後渡辺さんによるパステルアート教室でリンゴを表現するという内容で行いました。完成した作品はどれ一つとして同じものではなく、それぞれの表現で描かれていきました。参加者からは「楽しかった」「またやりたい」という声があり、貴重な体験ができたイベントとなりました。

なお、図書室おはなし会“おはなしこりん”は毎月第3土曜日（変更になることもあります）、今金わくわくカレッジ“イマカレ”は、年度を通して計8回実施されます。随時チラシ等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。



▲講師の渡辺淑子さん（写真左）



▲完成した参加者のパステルアート作品

コラム ステキな町で.....

教育委員会 船木 恵 委員



『センス・オブ・ワンダー』～神秘さや不思議さに目を見はる感性～

この感性は、やがて大人になるとやってくる倦怠と幻滅、私たちが自然という力の源泉から遠ざかること、つまらない人工的なものに夢中になることなどに対する、かわらぬ解毒剤になるのです。さらに著作はこうも言っています。

子どもたちがであろう事実のひとつが、やがて知識や知恵を生みだす種子だとしたら、さまざまな情緒やゆたかな感受性は、この種子をはぐくむ肥沃な土壤です。幼い子ども時代は、この土壤を耕すときです。 『センス・オブ・ワンダー』レイチェル・カーソン著（新潮社）

こんな文章に触れるのは、静かな初夏の黄昏時が似合います。一日の仕事を終え、喉をうるおす飲み物と一緒にいい話をひとつ、一人でゆっくりと味わい明日の活力につながる時間に汗をかいだ体と心が癒されます。私たちの町は、目を見張ればいつだって豊かな自然や心優しき人たちがいます。“読書と作文のまち”的背景…それは、わくわくする楽しみ、ぶつかり合う悲しみ、ともに笑う喜び、一人考えに耽ること、不思議を見つける愉しみ、好奇心を目覚めさせる瞬間、幸せを感じる時などあらゆる場面にあるようです。ありふれた生活に色を添えることができる……そんな環境がすぐ身近にあるのだと感じます。日々の小さな発見に感謝をしつつ、これから毎日をおおいに楽しみ、微力ながら誰かの役に立てる人生を……と思う今日この頃です。

船木委員が紹介する本『センス・オブ・ワンダー』▶
町民センター図書室にありますよ！ぜひ借りに来てください。



■平成 29 年度スポーツ少年団本部「体力テスト会・結団式・スポーツ見学会」

4月 16 日、総合体育館を会場に、各少年団から団員 135 名、指導者 22 名、個人 4 名の計 161 名の参加のもと標記事業が開催されました。はじめに「体力テスト会」が行われ、握力・反復横跳び・長座体前屈・上体おこし・立ち幅跳び・シャトルランの 6 種目の体力測定を実施しました。その後「結団式」が行われ、今金町体育協会会長からの激励の言葉や、団員・指導者それぞれの代表から宣誓がありました。また、各少年団から活動紹介の発表があり、お互いの活動を共有する場になりました。その後「スポーツ見学会」が行われ、少年団に加盟していない子どもや保護者がそれぞれのスポーツを体験し、少年団加盟を考えるきっかけの場となりました。

また、総合体育館ロビーでは「読書と作文のまちいまかね」の関連でスポーツ・体づくり・栄養などに関する図書の展示・貸出を行いました。自分がしているスポーツの知識や技術を深めようと、図書を借りる団員の姿がありました。



▲体力測定 上体起こしの様子



▲スポーツ見学会の様子



▲スポーツ関連本展示の様子

■『北の学芸員とっておきのお宝ばなし』全国の書店で好評発売中！

今金町出身の版画刷り師・赤川勲さんの功績を紹介

皆さん、町民センター図書室の入り口に右写真の本が展示されているのをご覧になりましたか？ この本は昨年 11 月、北海道博物館協会学芸職員部会が設立 40 年を記念して編集・発行したコラム集で、道内はもとより全国の主要書店で発売中です。

内容は、全道各地の学芸員がインターネット上のブログに「北海道で残したいモノ、伝えたいコト」と題し投稿したコラムを選定し、一冊に集成したもので、この中で当町の宮本学芸員が執筆した「刷り師・赤川勲の仕事と遺産」が 5 ページにわたり掲載されています。このほか、北海道の知られざる歴史や魚や植物など自然に関する楽しいコラム約 50 編が収録されています。販売価格は 1,620 円（税込）ですが、もちろん図書室でも貸出していますので、ぜひご利用ください。

なお、平成 14 年に赤川さんから寄贈された 238 点の作品は現在、今金中学校内で保管され、一部は廊下で展示されるなど活用されています。この本を通じて赤川さんの功績がもっと多くの人に知られるといいですね。

赤川版画作品の貸出事業をご利用ください

教育委員会では、作品の有効活用と日常生活に美術を取り入れてもらうことを目的に下記の要領で作品の貸出を行っています。町内の公共的な施設や民間の事業所など、なるべく多くの人が集まるところが対象となります。

- ①『収蔵品目録』の中から借りたい作品を選ぶ ※目録は町 HP でも公開中です
- ②教育委員会へ連絡 ⇒ 貸出中でなく貸出可能な状態であれば
- ③借用申請書に記入し教委へ提出 ⇒ 貸出利用



社会教育委員だより 〈社教委員のつぶやき〉

今号から社会教育委員によるコラムリレーを掲載します!

〈今金町社会教育委員会〉

委員長 天沼 寧 副委員長 山北 博明
委員 坂本 孝子 委員 業天 誉久
委員 松原 真一 委員 渡邊 昌子
委員 山崎 周一 委員 辻 浩一

「今金オリエンテーションふるさと再発見！」に参加して

社会教育委員 業天 誉久（北海道今金高等養護学校教頭）



5月21日(日)に「今金オリエンテーションふるさと再発見！」が行われ、家族5人で参加しました。見学先は、浄化センターやインマヌエル教会、ひかりの里やピリカ遺跡などで、今金町の生活や福祉、歴史を学ぶ大変良い機会となりました。移動のバスの中では、ガイド役である白岩社会教育主事の軽妙で親しみやすい語り口でそれぞれの見学先について御説明があり、とても楽しく見学をすることができました。特に、ピリカ遺跡では、今金の歴史に思いをはせるとともに保存や復元に向けて町民の方々の並々ならぬ御苦労があったのではないかと推察いたしました。また、子供たちは皮のキーホルダー作りを楽しみ、好きなデザインの金型を打ち込み、完成時は満面の笑顔で近くにいた方々に見せていました。昼食時間は、「春らんまん花いっぱい2017」を見学して、本校の生徒が花の苗を販売する様子も見学することができました。

見学会の最後は、社会教育委員の山北委員と坂本委員の御協力で今金町特産品の試食会が行われました。主に今金町産の大豆で作られた豆腐と今金町産のネギが入った味噌汁とざる豆腐、よせ豆腐をいただきました。特に豆腐は味が濃く、とても良い風味で大ファンになりました。さらに、一緒に参加した息子は「しそジュースがおいしかった」と話し、親子ともども今金のおいしい食材と出会う貴重な機会となりました。これからは、さらに地域の行事に家族ともども参加して、地域の方々との出会いを大切にしていきたいと思います。今金町のみなさま、よろしくお願ひいたします。

最後に、今回のイベントの御準備をいただいた宮本さん、白岩さん、荒川さん、山北委員、坂本委員、各見学先でご説明とご案内をしていただいた皆様、大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。



▲ピリカ旧石器文化館 革のキーホルダー作りの様子



▲今金町特産品試食会の様子



春らんまん花いっぱい 2017

社会教育委員 渡邊昌子（今金町商工会女性部部長）

5月21日(日)に開催され14回目を迎えた「春らんまん花いっぱい2017」は、天候に恵まれ春らしいさわやかな一日となりました。オープンと同時にポット花を求める行列が見られ、会場内に用意したテーブル席では青空の下大人達がビール片手に豚串をほおばりながら、ご家族や仲間同士で終始にぎやかに楽しんでいました！ステージでは、町内のボランティアグループによる読み聞かせやジャグリングパフォーマーによるショーに子どもたちがかぶりつきで見ていたのがとても微笑ましかったです。

桜やチューリップも終わりを告げる頃でしたが、町内で行われる春いちばんのイベントとして、毎年楽しみにご来場されている皆さんに声を掛けていただき、とても嬉しい気持ちになりました。11時から3時までのあっという間のイベントでしたが、締めを飾った振る舞い餅まで、たくさんの来場客で溢っていました。



▲ジャグリングパフォーマンスの様子

